

ジブチ月例報告 (2024年10月)

在ジブチ日本国大使館

【内政】

●10月1日、ゲレ大統領主宰の第14回閣議が行われ、特別な支援を必要とする人々に向けた在宅登録プロジェクトや人工内耳手術の資金援助、文化勲章の創設及び授与条件に関する政令草案、労働省の人事案の閣議決定が行われた。また、首相を含む各大臣の海外出張報告も行われた。

【外政】

●10月1日、ゲレ大統領は、アビィ・エチオピア首相と電話会談を行い、両国の経済統合プロジェクトの進捗状況や地域的・国際的な課題について話し合った。

●10月4日、ユスフ外務・国際協力大臣は、フランスで開催された第19回フランス語圏サミットに参加した。同サミットでは、複数のフランス語圏諸国から首脳や代表が集まり、団結と協力の手段としてのフランス語の重要性が強調された。

この2日間のサミットのテーマは、「フランス語で創造し、革新し、そしてビジネスをしよう」であったが、中東危機など重要な問題についても意見交換が行われた。

●10月14日、ユスフ外務・国際協力大臣は、ポートスーダンを訪問し、ブルハン・スーダン主権評議会議長と会談を行った。主な議題はIGADへのスーダンの復帰に関するものであり、ユスフ外相はブルハン議長に対し、「スーダンはIGADの創設メンバーであり、スーダンの不在は、我々の集団行動を弱体化させる」と伝えた。

●10月17日、ゲレ大統領は、新たに大使として任命された、キアシュト (Cynthia Kierscht) 米国大使、イオネット (Denisa-Elena Ionete) EU大使及びモハメッド (Mohamed Nacer Bessaklia) アルジェリア民主人民共和国大使の信任状捧呈式を挙行了。3名の新大使たちは、自国とジブチ共和国との友好・協力関係の強化に向けて努力する意向を表明した。

●10月20日、アブドゥルカデル首相は、ATMISに貢献している国々への訪問の一環としてジブチを訪れたハッサン・ソマリア大統領を迎えた。

●10月21日、ゲレ大統領は、ジブチを訪問したハッサン・ソマリア大統領を迎えた。会談では、ATMISからソマリア軍への責任移譲プロセスの進捗状況や両国の2国間関係について意見交換が行われた。

●10月30日、ディレイタ国民議会議長は、ハッサン・ソマリア大統領を表敬し、ゲレ大統領からの親書を手交した。親書の中でゲレ大統領は、2025年2月にAU委員長ポストへ立候補しているユスフ外相のソマリアの支持を要請しており、今回の協議ではユスフ外相への支持に加え、安全保障、開発、協力等の観

点から、地方の小都市が直面する主要な課題について意見交換を行った。

【経済・開発】

● 10月6日、アブドゥルカデル首相は、サフィア投資・民間部門開発庁長官とともに、フォール（Fatou Fall）世界銀行ジブチ常駐代表率いる代表団を迎えた。代表団の一人、ゴーラ（George Joseph Ghorra）国際金融公社アフリカの角担当マネージャーは、ジブチ政府が開発の障害を特定し、取り除くことを支援すること、具体的には融資の高金利に関して、これらの制約に対処するプロジェクトを実施するための具体的な行動計画を策定すること等様々な提言を行った。

● 10月16日、アブドゥルカデル首相は、イリヤス経済・財政大臣とともに、アキン=オルグバデ（Marie-Laure Akin-Olugbade）アフリカ開発銀行常務取締役が率いる代表団を迎えた。両者はジブチにおける開発の優先課題、特に地域の特性を考慮し、地域の変革を目的としたコミュニティ・プロジェクトへの資金提供について議論を行った。

【保健・衛生・社会】

● 10月9日、ラドワン通信大臣は、世界郵便の日を記念して「ジブチ郵便は、金融サービスにおける国家的リーダーとしての地位をますます確立しつつあり、国際金融機関とのパートナーシップのもと、安全で追跡可能な送金を促進する上で重要な役割を果たし続けている」とのスピーチを行った。また、「ジブチ郵便は、金融サービスにおける国家的リーダーとしての地位をますます確立しつつあり、国際金融機関とのパートナーシップの下、安全で追跡可能な送金を促進する上で重要な役割を果たし続けており、現在、ジブチ郵便銀行設立のための調査が終了し、事業計画が整った」と述べ、郵便銀行設立に向け、中央銀行の認可を得るための株式保有体制の構築を行っていることを明かした。

【軍事・治安】

● 10月29日、アブドゥルカデル首相は、ハッサン・インフラ・設備大臣及びアリ=ミラ海事局長とともにドミンゲス（Arsenio Dominguez）国際海事機関（IMO）事務局長を迎えた。会談では、ジブチの海域の安全と海上航路の保護を保証するため、海上安全対策の強化、有資格者の訓練、地域協力の促進等の課題に焦点が当てられた。IMOはEUとの協力の下、ジブチの沿岸警備員のための訓練センターを設置し、海上安全のための行動規範を強化するとともに、ジブチにおける海事アカデミーの設立に向け調査を行う予定である。

【日本関係】

- 10月2日、原大使は、子供への予防接種を支援する Gavi Alliance のバンバラ (Donald Bambara) ジブチ担当部長とジブチにおける活動や予防接種の有用性について意見交換を実施した。
- 10月7日、原大使は、ディレイタ国民議会議長と二国間関係、地域情勢、その他共通の関心事項について意見交換を実施した。
- 10月8日、ゲレ大統領は、石破茂新首相に対し「石破新首相のリーダーシップの下、日本が成長し、輝き続けることを願っている」との祝意を表明した。
- 10月9日、原大使は、ハッサン・サイド国家治安庁長官と日ジブチ二国間関係、地域情勢、ジブチが直面する課題等について意見交換を実施した。
- 10月10日、原大使は、ジブチ政府のアルミス大統領府付政府事務次官と二国間関係、ジブチ政府の優先課題等について意見交換を実施した。
- 10月15日、原大使は、Jeune Afrique Media Group のアリダ・アフリカ地域マネージャーとの間で、アフリカの角情勢、ジブチ外交、日本とジブチの二国間関係について意見交換を実施した。
- 10月16日、原大使は、ユスフ外務・国際協力大臣との間で、地域情勢、ジブチ外交、日ジブチ二国間関係等について意見交換を実施した。
- 10月16日、原大使は、当地保険会社の GXA Assurances のブシェ (David Boucher) 営業部長とナシール (Nasir Abdp) 技術部長との間で豊富な海洋・観光資源、道路インフラ及びジブチ経済について意見交換を実施した。
- 10月21日、原大使は、ディキル州を訪問し、ディキル州知事及び州議会議長の立会の下、ディキル医療看護センター主任医師との間でセンター小児病棟拡張計画に関する草の根・人間の安全保障無償契約書に署名を行った。
- 10月23日、原大使は、赤十字国際委員会 (ICRC) ジブチ事務所のヴァーメイレン (Bart Vermeiren) 代表を迎え、国際人道法、ICRCのイエメンにおける活動、ジブチ赤新月社とのパートナーシップ等について意見交換を実施した。
- 10月27日、原大使は、キアシュト米国大使とともに、ジブチの魅力や両国のパートナーシップについて意見交換を行った。
- 10月28日、原大使は、ドミンゲス国際海事機関 (IMO) 事務局長との間で日本とIMOのパートナーシップ、地域情勢等について意見交換を実施した。
- 10月29日、原大使は、ジブチの各分野で活躍する女性企業関係者との間でそれぞれの活動、雇用主が直面する困難、若者を仕事の世界に統合する重要性等について意見交換を実施した。
- 10月31日、原大使は、イオネットEU大使との間で、ジブチにおける国際機関との協力、EUの経済協力プロジェクト等について意見交換を実施した。

(了)